

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170100459		
法人名	有限会社 ライフ・シップ		
事業所名	嘉瀬紀水苑		
所在地	佐賀県佐賀市嘉瀬町大字萩野698番地		
自己評価作成日	平成22年2月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigojouhou-saga.jp/kaigosip/Top.do
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成22年3月23日	外部評価確定日	平成22年4月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

嘉瀬紀水苑の理念 「家庭的な雰囲気環境と地域の方との交流の中で「楽しく」「なごやか」「すこやか」を、モットーに、潤いのある生活、又、安心して、その人らしく暮らして頂けるよう支えていきます。」ご利用者の体調の良い日、天候も良い日には、なるべく苑外活動に出かけて近隣の散歩や公園等に手作り弁当持参して出かけて、季節を職員と一緒に感じています。また、地域の方、子供達とのふれあひも大切にしていきたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

のどかな田園地帯に位置した環境を活かし、近隣の公園の散歩や、希望により温泉へ出かけるなど、苑外へ出かける活動を多く取り入れることで、入居者に活気のある生活を提供し、自立支援に繋げる取り組みをしている。又、隣が管理者宅という利点を活かし、地域との馴染みの関係が自然に構築され、ホームを中心にして、子供たちから高齢者まで地域住民同士のふれあひの場ができています。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスとして、住み慣れた地域でその人らしく生活して頂けるように、全職員が事業所理念をつくり、日々の業務の中で理念を共有して実践に取り組んでいる。	管理者と職員が検討して、地域や入居者のニーズに合わせた理念をつくり、日々のケアに反映させるために、毎朝のミーティングで共有したり、入居者との関わりの中で実践するために、管理者がスタッフの育成に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ご利用者が地域の方と交流を持ちながら暮らし続けられるように、地域の子供達や地域の方との交流会の「おしるこ会」やふれあいが出来るように日常的なつきあいが出来るようにしている。	管理者の自宅が隣宅であり、地域とホームが自然に交流ができる利点がある。ホームの行事に地域の人に参加することで、交流の輪が広がるなど、地域密着型としての役割も大きい。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々の健康や介護や認知症の方の支援の方法は実践を通じて事業所でできる力を活かすよう努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	第19回運営推進会議で自己評価と外部評価の報告を行い、ご利用者の要望や御家族の御意見を頂戴してもっとより良くサービスの向上に取り組んでいくように努力しています。	運営推進会議を2ヶ月に1回行い、行政、地域、家族等が参加し、サービス向上の為の意見交換を行っている。又開催日ごとに、テーマを決め「認知症」「消防署による心肺蘇生法」「自己評価・外部評価」「個人情報保護法」など勉強会を組み込んでいる。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には毎回ご出席して頂いていて当苑の実情や状況等を積極的に報告しています。又、苑だよりを回覧してもらい、協力関係を保てるよう取り組んでいます。	市の担当者に入居者の状況を伝えたり、ホーム便りを市の職員へ回覧してもらう等、協力関係を築くように努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアを全職員が理解して、玄関の施錠は夜間の戸締りのみで身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月の勉強会で、「身体拘束廃止」に関する内容を取り上げ、全職員の理解を深めている。玄関の施錠をせず、共に散歩に出かけるなど、入居者の気持ちにあわせた介護に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員が高齢者虐待防止法についての研修や講義等で学ぶ機会を設けてマニュアルもあり、入浴時には全身観察を行い虐待防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	当苑で権利擁護についての講義を受けて学ぶ機会があり、必要な方には活用して頂けるように支援します。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者や御家族との契約時や解約、改定等の時は、十分な説明を行い理解と納得が得られるようにし、又不安や疑問点を尋ねて理解・納得をして頂けるよう図っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者や御家族等からの御意見、要望等を言える雰囲気づくりに努め、運営推進会議等で話し合い運営に反映させて頂いている。	家族会を開催したり、日頃の面会時など、気軽に意見を言ってもらえるよう配慮している。運営推進会議での意見により、家族からのアンケートをとるなど運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案を聞くミーティングを開き、職員が働きやすく又勤務体制にもゆとりを持てるように運営に取り組むことが出来た。	ミーティングで職員から意見を聞く機会を設け、ホームの行事にあわせた勤務体制にするなど、管理者と職員がお互いに意見を言いやすい関係作りに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがい等向上心を持てるように、働けるように職場環境・条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の学びの場を多くし研修を受ける機会を確保し働きながらしていくことを進めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち仕事の悩みの解消に役立つよう連携をとりサービスの質を向上させていく取り組みに努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人より困っていること、不安なこと、要望等をよく聞く機会を持ち、ご本人が安心されるように関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族等が困っておられる事、不安な事、要望等をよく聞く機会を持ち、安心して利用出来るように関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けたときに、介護保険申請がされていない方、医療的に必要な方、施設になれるか心配の方等に適した対処の方法を説明し対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に過ごし共に生活する中で、一緒に笑い、唄いながら暮らしを共にして、利用者から色々な事を学ぶ事が多い。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の訪問があり、ご本人の大好きな物の差し入れもあり一緒にくつろがれて、家族の絆を大切にされていることを全職員が共にご本人を支えていく関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人がこれまでに大切にされてきた馴染みの方、近隣の方、民生員の方の訪問があり、関係が途切れないように支援に努めている。	馴染みの友人や近隣の方や親類の方など、気軽に訪問していただけるように配慮している。盆・正月の帰宅についても希望により連絡し、家族との関係も途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者同士の関係を全職員が把握し共有し、孤立されることがないように、またご利用者同士の関わり合いも持たれて、共に支え合える支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても、ご利用者や御家族との関係を断ち切らないように、お見舞い、相談等も伺いながら継続的に関わりを大切にしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、全職員で情報を共有しご本人の意向に出来るだけ沿うように努めている。	日々のケアをする中で、本人の言葉や行動により思いや意向の把握に努め、職員が共有するため記録に残している。本人が何をしたいのか、どこに行きたいのかを聞き、実施につなげている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に情報収集し生活歴や生活環境、馴染みの暮らし方、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	事業所用方式アセスメント表を用いて、ご本人がより良く暮らして頂く為の課題とケアのあり方について、ご本人、御家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した、現状に即した介護計画を作成している。	定期的、又は必要時に必要な関係者と話し合い、介護計画を作成している。本人の意向を計画に反映し、モニタリングに基づき見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご利用者一人ひとりの日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践やモニタリングを行い介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人や御家族の状況、その時々発生するニーズや要望に応じて食事や買い物、行楽等の家族に成り代わり柔軟な支援、サービスの多機能化に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご利用者一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握して、中学生による福祉体験学習や地域の小学生とのふれあい等、本人が心身の力を支えながら豊かな暮らしが出来るように支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医が往診に来て頂いて、事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	本人や家族の希望により、かかりつけ医を決定し、適切な医療を受けられるよう支援している。家族への相談、連絡をその都度行い、医師への状況報告等連携にも努めている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づき、身体状態、経過を、職場の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診、往診や看護を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者が入院された時は、安心して治療が出来るように、また、出来るだけ早期に退院出来るように病院関係者との情報交換や相談に努めている。又、そうした場合に備えて協力病院やかかりつけ医と連絡や情報交換を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用時に重度化や終末期の看取りの指針について説明し同意を得ている。ご利用様が日々より良く暮らして頂けるように事業所で出来る事、出来ない事を見極め、十分に説明してかかりつけ医とともにチームとして支援に取り組んでいる。	重度化した場合や終末期のあり方について指針を作成し、入居時に説明している。職員の意識向上の為に勉強会を開催し、ホームで出来ることを検討しながら家族へも随時伝えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応マニュアル、事故発生時対応マニュアルの判断基準を作成している。定期的に消防署の指導による「心肺蘇生法」の講習をして頂き、実践力に身に付けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災や地震、水害等の災害時に備えて、ご利用様が避難できる訓練を年2回実施行い、全職員が身につけるようにし、近隣との協力を得られるように築いている。	消防署の協力により、ホームで夜間想定避難訓練方法も含めた研修会を開催し意識を高めており、日常的にホームを訪ねてもらうような関係を構築している。また地域住民の協力を得ながら避難訓練を行っている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応、記録等しないように確認し合っている。	尊厳を守る関わりを大切にしており、勉強会でも常に意識をもつことを確認している。日常のケアの中で管理者が職員を指導し、育成に力を入れている。職員はプライバシーに配慮した優しい言葉かけを行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者の要望、希望を表せる雰囲気づくりにして、自分で決めたり、納得をされながら暮らされている。また、強制や押し付けの支援とならないようしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的には一日の流れは決まっているが、一人ひとりの体調状態、気分に合わせて本人のペースを大切にしながら自発的な意向を尊重している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい理美容は訪問にて支援してもらっている。利用者の方も気に入っておられる様子。又、利用者の方に行きつけの美容室を持った方には支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	苑畑で収穫した野菜を用いて食事の献立と一緒に決めたり、野菜の下ごしらえや配膳準備、食事、後片づけを一緒にしている。	季節ごとにホームの野菜を収穫し、入居者の力が発揮できるよう、献立の希望を聞いたり、食事の準備や下ごしらえ、配膳など共にしている。職員も同じ食事を一緒に食べている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者一人ひとりの摂取形態、摂取量をその人に応じた提供をして水分も食事以外に1日1000ccを目標に飲用して頂くように品を替えて提供している。又、栄養バランスが上手く取れる献立表を活用している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に、歯磨きや義歯洗浄、言葉かけや誘導行い見守りしたり、介助している。夜間も義歯をお預かりして義歯洗浄剤や水に浸けて支援している。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	1人ひとりの排泄パターンを把握し、言葉かけや誘導が必要な方等支援している。又、出来るだけ布パンツを使用して尿漏れある方にはパット使用でトイレで排泄促し、本人に出来る所までは見守りで出来ない事のみ支援している。	排泄パターンを把握、記録することで、オムツを使用せず、トイレに誘導したり、夜間ポータブルトイレに変えるなど自立支援に繋げている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	全職員が便秘が及ぼす影響を理解して、食事には食物繊維を多く含む食品を提供するようにし、食材を一日30品目を目標に心がけている。又、排便チェック行い定期的に排便があるようにして、運動、体操、散歩も一緒に行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は1人ずつ、ゆっくり入って頂いている。希望やタイミングが必要な方にはその方に合わせて入浴を楽しめるように支援している。見守りや介助が必要な方にも安全に配慮して入浴を楽しめるように支援している。	入浴は入居者に合わせて支援をしている。希望があれば、夜間も入ることが出来る。入浴を嫌がる方には言葉かけを工夫するなど、個々に応じた対応をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて休息したり、休憩、睡眠をとって頂いている。又、安心して気持ちよく眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの病気と服薬されている薬の把握に努めて、薬の説明書を管理して、薬を手渡して飲める方、介助で飲める方等、服薬確認を行っている。症状の変化がある時は、かかりつけ医に報告している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かした役割が個々に有られて、好きな物や楽しみごと、気分転換等も個々に有られて支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今は戸外は寒く、苑外活動は出来てない。暖かくなったら、近隣の散歩、公園等へ手作り弁当持参して出かけ季節を感じていただいている。一人ひとりの個別外出は、御家族と協働して対応支援行いたい。	外出が多いことがホームの特色となっており、入居者の体調や天候をみながら、出かける機会を作っている。また家族の協力を得ながら自宅へ帰られたり、買い物に同行するなど個別の対応も行っている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人で管理できる範囲の所持金。家族の要望に合わせた支援をしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の要望・希望があればいつでも出来るように支援行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	幹線道路沿いにありて車音、暴風音の騒音防止に2重サッシにし、ホールの天井窓に優しい光を取り入れる工夫をしている。また、一緒に作った季節暦を取り入れた貼り絵で季節を感じて過ごせる工夫をしている。	明るく清潔なホームである。天窓の明るさを調節したり、騒音防止の為二重サッシにするなど、環境に配慮している。ホームで育てた花を飾り、季節感を出している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者同士が思い思いに過ごせるソファや椅子、また、独りになれたり、思い思いに過ごせるように居場所の工夫をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	一人ひとりの居室には、使い慣れた机、テーブル、タンス、椅子、暦、写真、時計、羽毛布団等、持参されている。本人が居心地よく過ごせるように家族と一緒に工夫している。	居室にはタンスや椅子など使い慣れた家具が持ち込まれ、本人が安心して過ごせる工夫をしている。家族にも理解を得ながら、写真を飾り個性が窺える居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来るだけ一人で安全に動けるように、手すり、スイッチの位置、ドア、時計、暦、通行の出来るように自立した生活が送れるように工夫している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない